

## 教育研究資料のデジタル・アーカイブ化について 2

### ～デジタル博物館のための木田宏教育資料の情報化～

谷 里佐<sup>\*1</sup>・後藤 忠彦<sup>\*2</sup>・浅野 弘光<sup>\*3</sup>・興戸 律子<sup>\*4</sup>・加藤 直樹<sup>\*5</sup>

〈概要〉戦後の教育史・教育行政などに関する貴重な資料群である木田宏教育資料の中でも、特に、憲法・教科書・教育行政関係についてのお話しの映像をはじめ、著書や当時の社会的な状況の記録などの資料を教育資料として総合的に構成するオーラルヒストリーのデジタル・アーカイブ化の試行状況と、教育研究資料において、求められる構成に関する試案を報告する。

〈キーワード〉教育研究資料，オーラルヒストリー，博物館，デジタル・アーカイブズ，情報化

#### 1. はじめに

後世にのこすべき有形・無形の資料を収集・整理し、最適な状態で保管して、広く流通を行う手段の一つとして、各種資料のデジタル化、デジタル・アーカイブ化が注目されてきている。

これにより、実物資料にとどまらず、祭祀や舞踊などの伝統文化、芸能、自然などの現時点での様子、営みなどをデジタル情報として記録するといった有形・無形の資料情報を保存、蓄積し、公開することが可能になった。

博物館や資料館においても、所蔵資料の情報化はすすめられており、それらの資料情報は、データベース化やコンテンツ化され、公開されるようになってきているが、どのような資料をどのように構成し、人々に供するかについては、検討の必要がある。

そこで、戦後の教育史、教育行政についての貴重資料である「木田宏オーラルヒストリー」の記録について、教育研究資料としての利用も視野に入れたデジタル・アーカイブ化の試行を行った。

「木田宏オーラルヒストリー」については、前稿<sup>①</sup>において、資料化の概要と記録内容などについて報告したが、本稿では、実際の資料構成について報告する。

#### 2. 木田宏教育資料～オーラルヒストリー～

##### (1) 動画記録

「木田宏教育資料」は、元文部事務次官・故木田宏氏の証言及び著書などの資料を指す。

木田宏氏の一連の資料については、岐阜大学教育学部附属カリキュラム開発研究センター（現・総合情報メディアセンター）にて、平成7年(1995)から数回に分けて、木田氏のお話しの記録と著された原稿などが『木田宏教育資料』としてまとめられ、冊子資料としてのこされている。

今回、上記を基礎資料として、2004年6月27日・28日の2日間にわたって、岐阜女子大学文化情報研究センターにて、木田氏のお話を撮影させていただき、文字資料としてだけでなく、お話しの様子そのものを動画資料として記録させていただいた。

これらをオーラルヒストリーとして、文字記録（文字起こし）・音声記録・動画記録した。

##### (2) 資料構成

「木田宏オーラルヒストリー」のデジタル・アーカイブ化にあたり、その情報構成は、①動画情報 ②文字情報 ③関連情報の3つとし、それらを相互に関連付けて構成した。

\*1TANI.Risa : 岐阜女子大学 e-mail⇒rtani@gijodai.ac.jp

\*2GOTO.Tadahiko \*3ASANO.Hiromitu : 岐阜女子大学

\*4OKIDO.Rituko \*5KATOH.Naoki : 岐阜大学

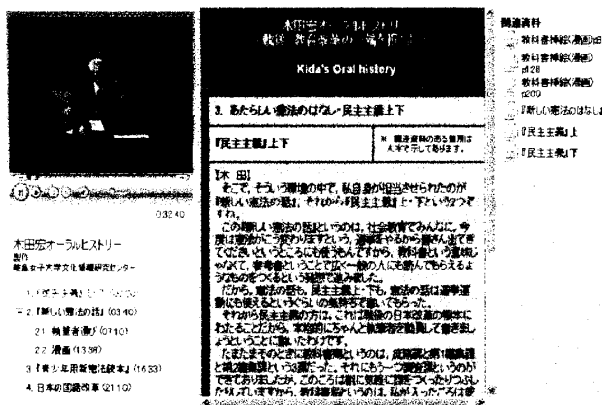


図1・構成イメージ  
(左から動画情報・文字情報・関連情報)

### ① 動画情報

木田氏にお話しいただいている様子を動画記録したものを提示した。特に、お話しされている箇所だけでなく、考えをめぐらせている箇所や資料を選んでいらっしやるところなど、音声としては記録がない部分もそのまま収録した。

これにより、文字情報にはあらわれてこない話の内容に関する微妙なニュアンスや表情などの様子をより伝え、話の主張点が明確にできるのではないかと考えた。

なお、動画情報は、内容にあわせ、数分ごとに区切って目次化した。

目次化にあたっては、構成者の主観ではなく、木田氏から指定していただいたレジュメの項目およびキーワードを採用した。

### ② 文字情報

上記①と対応し、お話しの内容の文字起こした文章を提示した。

これに関しては、文字起こしの元原稿を木田氏に校正いただき、また、必要箇所については適宜編集注を入れ、文字情報としてまとめた。

これらの文字情報は、別途、冊子としてもまとめ、デジタル情報だけではなく、印刷物としても保存した。

### ③ 関連情報

上記①・②、つまり、木田氏のお話しの中で触れられている内容に関連する教科書・書籍・論文や写真などを関連情報として提示した。例えば、教科書に漫画を入れたお話しと関連付けて、実際に教科書に用いられた挿絵や、兵役のお話しと関連付けて、米国公文書

館(国立公文書・記録管理庁)-National Archives and Records Administration(NARA) 日本関連資料の写真などを、必要に応じて参照できるようにリンクさせた。

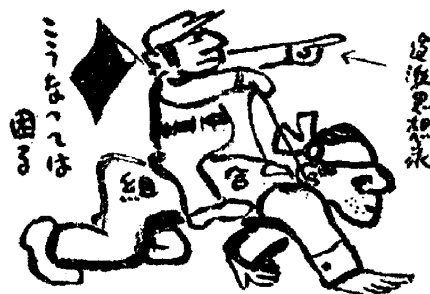


図2・教科書挿絵

### 3. おわりに

以上、「木田宏オーラルヒストリー」の構成について報告した。

こうした、オーラルヒストリーを中心とし、書籍などや海外の資料とを関連付けて、教育資料として総合的に構成することは、一つの事実(お話しの内容)を多面的・多角的に考察するための資料の提供方法の一つとなると考える。

ただし、これらの構成の過程では、構成者の思惟の介在が生じることは必定であり、2-①でも少し触れたが、これをどうとらえるかが課題である。

最後に、木田宏先生は、2005年6月27日、ご逝去されました。謹んで哀悼の意を表しますとともに、本アーカイブ化の機会を与えて下さったことに深く感謝いたします。

また、米国公文書館日本関連資料の提供及びご教示をいただいた岐阜女子大学菊川健教授にお礼申し上げます。

### 〈引用・参考文献〉

- (1) 谷里佐ほか「教育研究資料のデジタル・アーカイブ化について(1)」日本教育情報学会第20回年会論文集 2004
- (2) 後藤忠彦・加納豊子『「木田宏教育資料」について』日本教育情報学会誌「教育情報研究」13-4 1998
- (3) 後藤忠彦・加納豊子『「木田宏教育資料について」(2)』日本教育情報学会誌「教育情報研究」15-1 1999